

一般質問

地域対策

人にやさしいまちづくりを

住民の要望にこたえる



議員 矢野 昭三

問 拳の川付近へ自動車専用道連絡道の設置を要望できないか。

答 森田 建設課長

地震対策や地域住民の利便性の向上等を考慮し、佐賀方面への乗り入れができないか中村河川国道事務所に要望したい。

問 政策・事業評価実施要綱、要領を問う。

答 松田 総務課長

課題については翌年、翌々年に生かしていくか各担当部署から書類を提出している。

問 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、高知県人にやさしいまちづくり条例について姿勢を問う。また、くろしお鉄道やバス停へ向かう道の手すり、坂道の改善はできないか。

答 松田 総務課長

住民の要望を頭に置きながら対応していきたい。目標に向かって最大限努力するのが努めであり、県、国への要望は当然している。

くろしお鉄道のバリアフリー化を検討しているが、事業費と管理が課題だ。

バス停留所の斜路、手すり

は地域と協議し改善したい。

問 高齢化が加速することに伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も増えて来ている。その対策としてデイサービスなど集団生活の方針について問う。

答 宮川 健康福祉課長

あつたかふれあいセンターにおいて、高齢者等の居場所づくりや相談活動等を行い、高齢者福祉を充実したい。

産業振興

経済に活力を

新産業に取り組み

問 水産振興のため海外での資源管理対策、沿岸漁業振興のためプランクトンの状況、産卵場の整備、砂が堆積し岩場が少なくなった。それらの対策を問う。

答 浜田 海洋森林課長

漁獲制限について水産庁長官へ要望している。アメリカと共に取り組んでいる。

カツオは、海外での知名度が低く、更に減少する恐れがあるので、状況をみながら対応する。動物性プランクトンは増える傾向にある。産卵場は今年度も計画している。ホンダワラ、カジメの効果が高い。海岸形状の変化によって生態が変わるため、砂の移動がどのようになってきているか十分に調査する必要がある。

問 町内の企業育成と、継続のある雇用確保のため、有識者による対策会議を組織し、住民要求に応えるか問う。

答 森下 産業推進室長

平成25年度当初予算に新産業創造事業を提案した。この新事業により継続的な雇用創出が早い時期にできるよう取り組みをしたい。

対策会議等を組織しての検討については、今のところ考えていない。